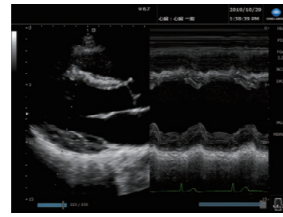


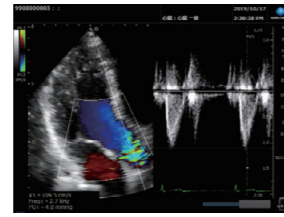
IMAGE GALLERY



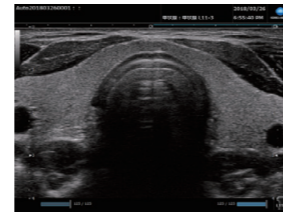
肝臓



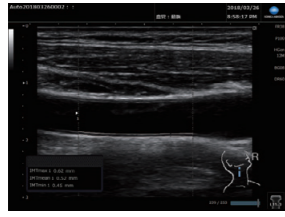
心臓



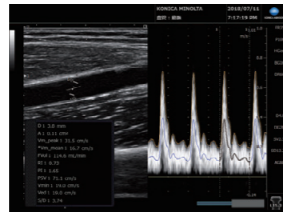
心臓



甲状腺



頸動脈 AutoIMT



上腕動脈 フローボリューム



肩胛板



腕神経叢

対応プローブ (手持型体外式超音波診断用プローブ)



リニアプローブ L11-3
第228ABBZX00113000号



リニアプローブ L14-4
第227ABBZX00067000号



コンベックスプローブ C5-2
第226ABBZX00053000号



セクタプローブ S4-2
第226ABBZX00138000号



コンベックスプローブ MC10-3
第228ABBZX00112000号

オプション

ボールカート | 3ポートプローブ拡張ユニット | クレードル | デスクスタンド | 増設バッテリーパック | バックパック | キャリーケース
無線LAN子機 | カードリーダー | バーコードリーダー | CWライセンス | ECGユニット | 白黒プリンター
SNV (Simple Needle Visualization) | ダイレクト録画機能 | ライブラリ機能 など

標準搭載

DICOM Storageライセンス | DICOM WORKLISTライセンス | アンチウイルスライセンス | Auto IMTライセンス | 無線LANライセンス | SCF (Simple Clear Flow)

本体仕様

走査方式	リニア、コンベックス、セクタ
モード	B, Color, Power, SCF, PWD, CWD
モニター	12.1インチ IPS方式モニター
サイズ	W 320 mm × D 64.5 mm × H 302 mm (突起含まず、スタンド、ハンドルを閉じた状態)
電源	AC 100V, 50/60 Hz, 最大 150 VA
質量	約4.5kg (本体のみ、バッテリー含む)
バッテリー駆動	標準構成 連続90分 (Freeze時)、連続60分 (稼働時) 増設バッテリー搭載時 連続180分 (Freeze時)、連続120分 (稼働時) ※学習容量が5,800mAh (定格容量) の満充電のバッテリーの時
一般的名称	汎用超音波画像診断装置
販売名	超音波診断装置 SONIMAGE MX1
認証番号	第230ABBZX00010000号



クレードル

SONIMAGE MX1 α 本体をボールカートから簡単に脱着することができます。
※オプション

3ポートプローブ拡張ユニット

画面上でプリセット選択すると簡単にプローブの着替えができます。
※オプション

ボールカート

※オプション



KONICA MINOLTA



超音波診断装置

SONIMAGE MX1 α

高画質、コンパクト、ユーザビリティを追求したポータブルエコー

製造販売元

コニカミノルタ株式会社

販売元

コニカミノルタ ジャパン株式会社

105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

TEL: 03-6324-1080

https://www.konicaminolta.jp/healthcare

- ご使用の際は添付文書および取扱説明書を必ずお読みください。
- 改良のため、仕様および外観は予告なく変更する場合がございます。
- KONICA MINOLTA ロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。
- SONIMAGE は、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。
- SONIMAGE MX1 α は、超音波診断装置 SONIMAGE MX1 の愛称です。

Giving Shape to Ideas



PLUS α

あらゆる診療スタイルに、 プラスアルファ。

高画質・コンパクト・ユーザビリティを追求した、超音波診断装置「SONIMAGE MX1」に新機能をプラス。

いつでも、どこでも、精度の高いエコー診断が可能になりました。

外来、病棟、透析、在宅など、Point of careで使いたくなるポータブルエコー。

あたらしい診療スタイルが、ここから始まります。

本体質量
約4.5kg

持ち運べる
軽量・コンパクトサイズ

起動時間
約15秒

スリーブ状態からの
起動時間

バッテリー持続時間
約1時間

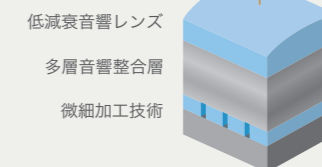
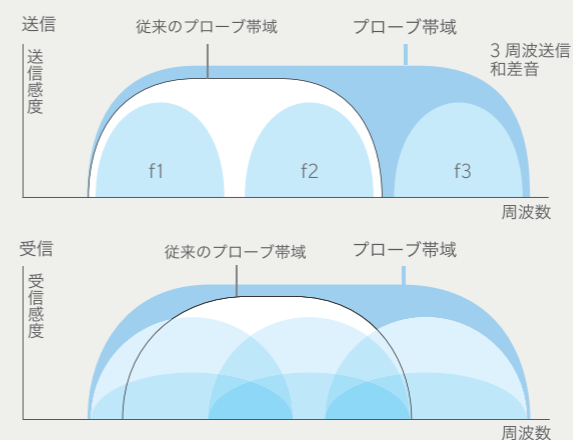
増設バッテリーで
最大2時間まで使用可能

※オプション

みえる iXRET 技術をプラス、より高画質に

T²HI[®] (Triad Tissue Harmonic Imaging) 高い分解能と深度を両立

T²HI[®] 独自開発の広帯域高周波プローブと画像エンジンを組み合わせ、帯域内に入ってくる多くの差音/和音/高調波を送受信することに成功、高分解能と深度を両立させ高画質を実現しました。



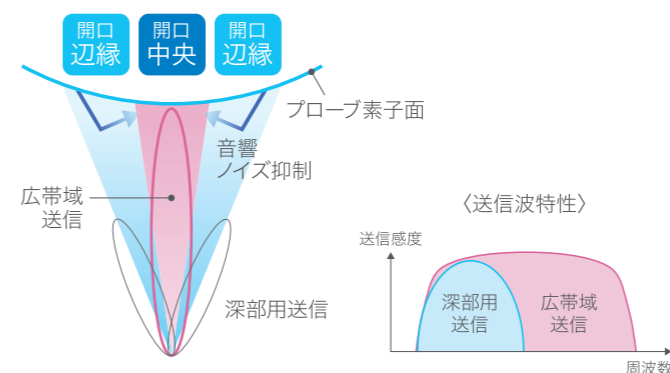
プレミアムクラスに迫る画質を実現 高感度広帯域プローブ(L11-3)

高感度化と広帯域化を両立するため、プローブ先端部にある音響整合層には、高度なシミュレーション技術で導き出した多層整合層構造を開発・採用しました。

Dual Sonic[®] 浅部の描出改善と深部の視認性を両立

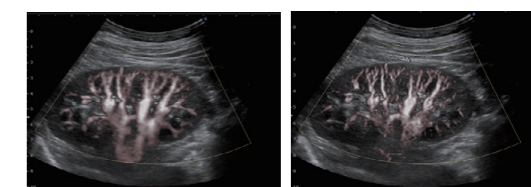
開口中央部は広帯域の送信波形、辺縁部は深部に有効に働く低周波成分を多く含む深部用の送信波形を形成。

2種類の送信波形により最適な超音波ビームを形成することで、浅部領域での音響ノイズの混入を抑制し高い分解を実現するとともに、送受信効率の最大化により、深部の描出向上も同時に達成しました。



iXRET 超解像処理により空間分解能を向上

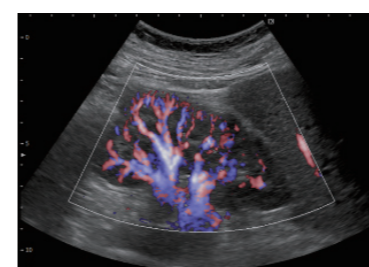
独自の超解像アルゴリズムで受信音響ビームを高密度化し、分解能の向上を実現しました。フレームレートを上げて分解能を落とさずに画像を表示することができます。超解像アルゴリズムでは、受信音響線ビームを2倍にし、それぞれの信号に画像処理を行い、解像度を高めた出力信号を用いて画像化します。



高コントラスト・広視野角モニター

あらゆる環境においても、得られた超音波信号を忠実に表現します。

Simple Clear Flow モード 細かな血流をより繊細に



高分解能な血流表示モードで、細い血流を感度良く描出することができます。



アシスト機能をプラス、診療をスムーズに



直感的なインターフェース 5つのハードキーとタッチパネル

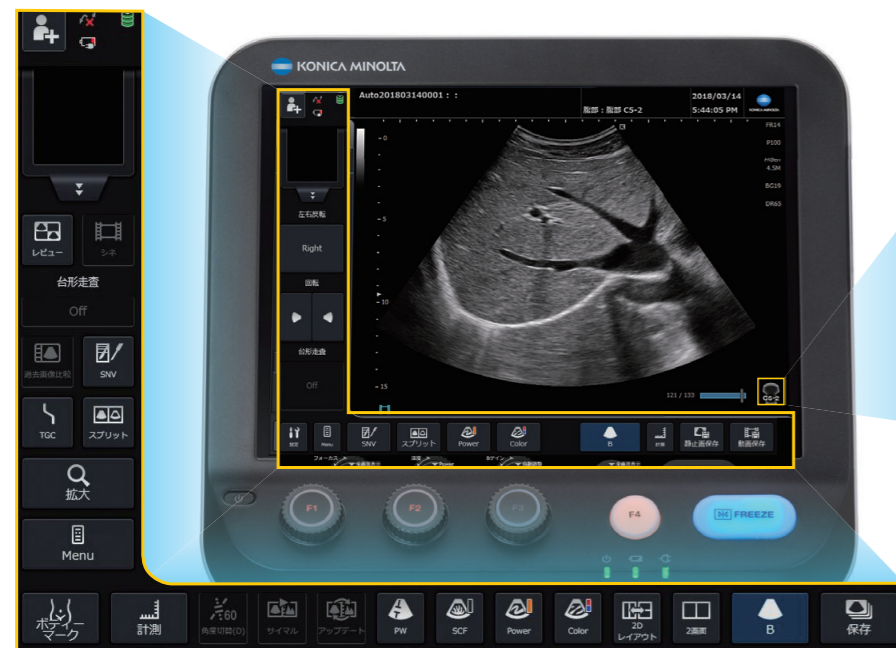
使用頻度が高い5つのハードキーを手前のコンソールパネル上に集約し、スムーズな操作性を実現しました。ボタン毎に好みの機能を割り付けることも可能です。



わかりやすい日本語表記

スワイプ操作にも対応

フォーカス、深度、ゲイン、流速など指で画面外の指定エリアをなぞることで直感的に変更できます。



カスタマイズも可能 アイコン表示による直感的な操作性

よく使う機能を、画面上にアイコンとしてレイアウト。使わないアイコンは非表示にするなど、ユーザー毎のオリジナル画面を設定することもできます。

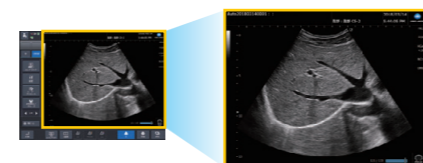
設定しやすい ユーザープリセット

プリセットをアイコンで最大12個まで表示できます。プローブとアプリケーションの選択・切替を簡単におこなえます。



小さな画面を 最大限に活用する フルスクリーン表示

画像描出エリアを広くすることで構造物をより見やすくします。



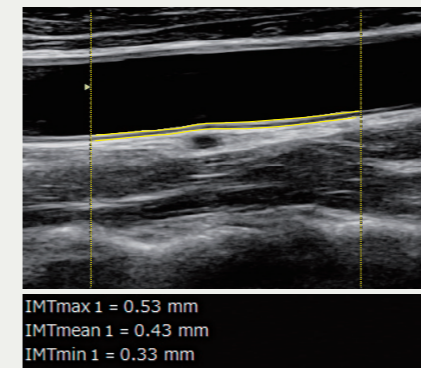
らくらく頸動脈検査

使用方法を動画で閲覧できます



自動測定「Auto IMT」

頸動脈の前壁と後壁の内中膜複合体を自動で検出し、内中膜複合体厚(IMT)をワンタッチで自動計測します。最大2cm幅での計測が可能です。



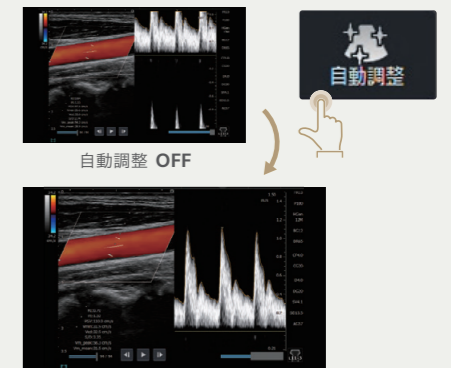
簡単2ステップ



IMTmax 1 = 0.53 mm
IMTmean 1 = 0.43 mm
IMTmin 1 = 0.33 mm

自動調整機能

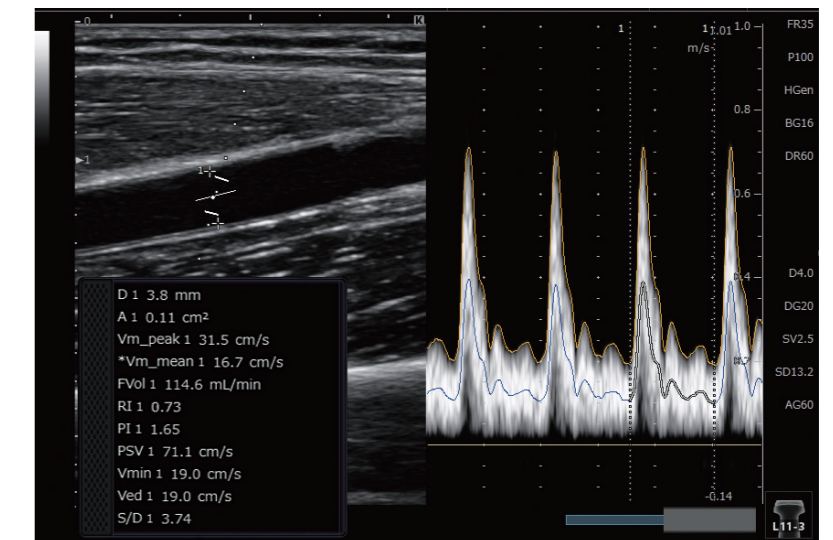
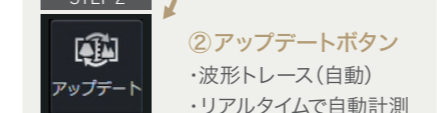
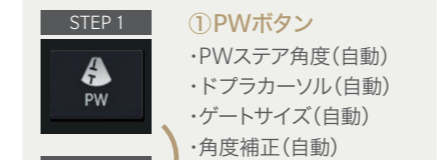
PW/CWの流速やベースラインをワンタッチで自動調整します。



血流測定を簡単に「Vascular NAVI」

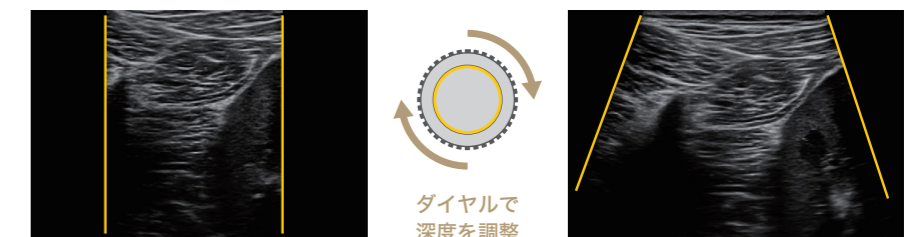
描出された血管画像を解析し、ドブラカーソル位置、ゲートサイズ、角度補正およびステア角度を調整します。さらに、血管径検出のアシスト機能によりフローボリューム値を簡単に算出できます。

簡単2ステップ



深度に応じて見やすい画像に 「MPA」機能 (Multi Parameter Adjuster)

ダイヤルを回して表示深度を変更するだけで、あらかじめ深度毎に設定された画質設定で画像が表示されます。例えば、表示深度を浅くすると高周波に、深くすると低周波や台形走査へ自動的に切り替わり、ワークフローの効率化に貢献します。



「対話」できる、エコーへ

高画質・高性能を兼ね備えたMX1αが、症状と所見と患者さんとの「対話」を実現。新しい診療スタイルを提案します。



参考動画

ドクターズインタビュー
「超音波診療 総合診療医はHS1&MX1をこう使う！」



描画機能が、患者さんとの「対話」をサポート

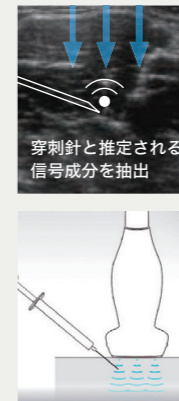
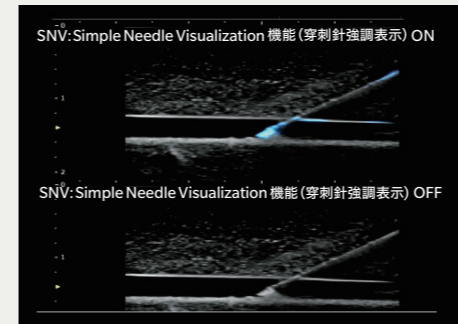
説明したい部分に指で直感的に文字やトレースを描ける機能を搭載。患者さんへのわかりやすい説明をサポートします。



SUPPORT FUNCTION

穿刺サポート機能 SNV (Simple Needle Visualization)

独自の画像解析処理技術により、角度依存性がなく、動いている穿刺針を強調します。



対応プローブ L11-3、L14-4、C5-2、MC10-3

※穿刺針強調処理は穿刺手技を行う際の補助機能となります。ご使用の際は、取扱説明書の注意事項・警告事項を必ずお読みの上ご使用ください。

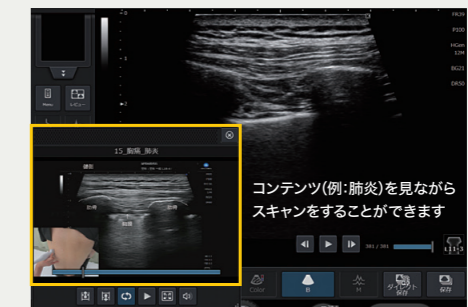
スキルアップをサポートする ライブラリ機能

使用方法を動画で閲覧



SDカードに記録した超音波画像や動画、レクチャー画像を超音波診断装置上で再生することが可能。動画を再生・確認しながらスキャンできるため、エコーを初めて使用する方でも精度の高い手技を可能にします。また、ご自身で保存した静止画・動画をマイライブラリに保存しておき、必要に応じて閲覧できます。

※オプション 専用SDカードは別売りです。



SDカードの内容

肩のEASY STEP 4

1. 上腕二頭筋長頭腱短軸
2. 上腕二頭筋長頭腱長軸
3. 肩甲下筋腱長軸 など

腰痛肩こり五十肩

1. 腰痛
2. 肩こり
3. 五十肩 など

外来超音波診療

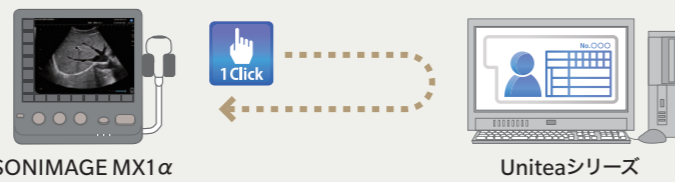
1. 腹痛
2. 胸痛
3. 頸部領域
4. 末梢神経
5. 関節

※2019年12月現在

院内システムと連携して ワークフローを効率化

画像保存、出力はDICOMをサポートしており、院内のPACSに保存いただけます。Uniteaシリーズとの連携でデータの一元管理が可能に。たとえば、Uniteaで表示中の患者情報をSONIMAGE MX1αからワンクリックで取得できるなど、よりシンプルなワークフローを実現します。USBHDD等のメディアストレージにも対応しています。※一部オプション

ワンクリックでUniteaと連携



Uniteaとは、一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション、販売名：画像診断ワークステーションREGIUS Unitea、認証番号：第225ABBZX00052000号の略称です。



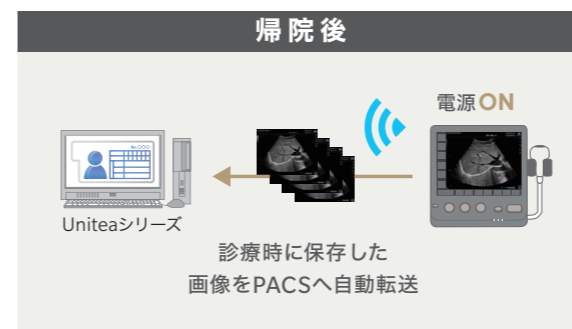
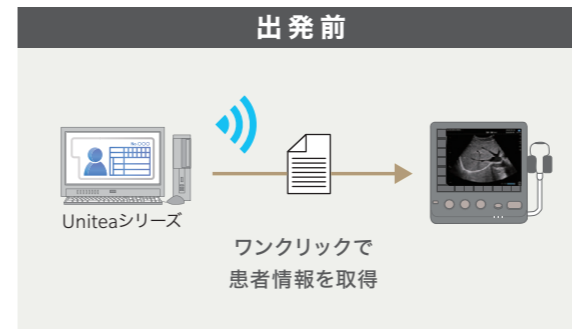
無線LAN対応で 移動やデータ連携が簡単

無線LANに対応しているため、LANケーブルなしでネットワークに接続可能。移動の際のケーブル挿抜の手間とストレスを軽減します。

※無線環境により利用できない場合があります。
※無線LAN子機はオプションです。



出張診療時のデータ連携



持ち運べる 軽量・コンパクトサイズ

電源を取れない場所でも増設バッテリー*で最大2時間まで使用が可能。院内で使用しているエコーを在宅診療でもお使いいただけます。※オプション



お客様コールセンター とも連携

万一のトラブル時には、お客様コールセンターとつながります。電話はもちろん、操作画面を共有しながらのトラブル解決が可能です。

